

## カタリバ特別授業を大分商業高校で開催しました

平成 27 年度 2 回目のカタリバ特別授業が平成 28 年 2 月 18 日・19 日の両日、大分県立大分商業高校体育館で行われました。

このカタリバ特別授業は、大分大学と「認定 NPO 法人カタリバ」がタイアップして、本学の後学期教養科目「カタリバでキャリアを拓く<sup>1</sup>」(水曜 2 限、授業担当は本学経済学部 教授 宮町良広、特任教授 佐藤裕哲、「認定 NPO 法人カタリバ<sup>2</sup>」の今村 亮氏、星野秀太氏)を開講しています。



「カタリ場<sup>3</sup>」とは、主に高校生の将来への可能性を引き出し、将来への行動へと動機づけることを目的とした高校と大学が真剣に向き合うことで成立するキャリア学習プログラムです。「親」でも「先生」でも「友達」



でもない、すこし年上の「先輩」だからこそ、将来への期待感を刺激し、高校生の本音を引き出す対話の場を作ることができます。受講生は、授業では「**ナナメの関係で高校生の心に火をつける**」ことを目標に、高校生に親近感と憧れを抱かれる存在になるための方法や対話力の修得に時間をかけました。生徒の話

開始	終了	(分)	内 容	詳 細	会 場
9:00	9:00	0	大分商業高校到着	大学生控え室移動。	
9:30	13:00	210	最 終 研 修	大分商業高校の生徒の現状、課題等をおさらい。	大学生控え室
13:10	13:35	25	① 班づくり	大学生 1 名と生徒 6 名で 7 人の班を作る。	体 育 館
13:35	13:55	20	② 座 談 会	班ごとに大学生と座談会。	体 育 館
13:55	14:40	15×3	③ 先輩の話 (サンプリング)	15 分×3 回で進行。うち 2 回は、先輩を 2 人選んで話を聞く。うち 1 回は、班の先輩と座談会。	体 育 館
14:40	15:00	20	④ 約 束	班に戻り今日の学びを約束カードに各自記入。	体 育 館
15:10	17:00	110	振 り 返 り	学生が本日のカタリ場の価値を振り返る。	大学生控え室

〈表 カタリバ特別授業当日の流れ〉

構成を組み立てていきます。

2 月 18 日、午前 9 時、「**今の自分を見つめ直し、将来、なりたい自分を見つけ、行動しようと思いきっかけを作る**」をテーマに特別授業の直前の事前準備を行いました。高校生と大学生のナナメの関係で、大商生の心に本気の火を灯すことで大商生の自立を促します。12 時 50 分、2 年生 160 名を体育館で待ちます。拍手で迎えます。PM の河津紘也君(教育福祉科学部 1 年)が、特別授業の開始を宣言しました。自作のワークシートを活用し生徒の気持ちを引き出します。「サンプリング」では、先輩達が実際に体験した挫折や葛藤を大学生の生の声で語りかけました。高校生は真剣な眼差しで聞き入ります。その後、グループに戻り高校生は自分と向き合います。大学生もそっとアドバイスします。本日から取り組む“約束”をカードに書き込みました。PM は、「約束カードに書いた決意は、みなさんの道しるべとして折に触れて見てください。そして、今日の特別授業を思い出してください。」と語りかけました。大商生の本気度は最高潮に達しました。授業後、大学生も自分自身を見つめる機会になっていることに気づいています。大商生がこの感動を忘れずに自分の目指す方向に邁進してくれること祈っています。



1 平成 25 年度に開講しました。

2 「認定 NPO 法人カタリバ」については、<http://www.katariba.net/>を参照してください。

3 「カタリ場：カタリバが実施する、キャリア総合学習の呼称。本書では団体・組織名を「カタリバ」、高校生向けプログラム名を「カタリ場」として使い分けている。」(上阪 徹(2010)『「カタリバ」という授業』 英治出版 p.16)。